

生まれつつある “地域のために”という意識

栗源地区住民自治協議会は、栗源地区地域まちづくり計画に基づき、環境、福祉、防災、広報など8つの実施事業を計画し、各実行委員会が推進しています。

今回ご紹介するのは、環境美化事業の一つ「栗源桜の名所めぐり」です。この事業は、栗源中学校周辺の桜ヶ丘に桜の苗木を植えて環境美化に努めるボランティアグループ「栗源さくら」の会と連携して取り組むものです。10年ほど前から栗源さくらからは独自で行っていました。住民自治協議会が発足したことで地域



高橋 静江(助沢)
【協議会会長】

を巻き込んで活動の充実を図ることになりました。

今年度は恒例になったお花見広場を4月5日に栗源中学校そばの広場で開催。メイン会場では、ボランティアグループ3団体による模擬店が出店。お腹を満たした後は、桜の森を通り抜け、栗源小学校の櫺の部屋に向かうと、写真用の額作りを体験することができ、こちらは、住民自治協議会の高齢者福祉の実事業の同日開催です。お花見に参加した高齢者は、新たな企画にも参加することができ、交流の輪が広がっていました。

このようにボランティアグループが行っていた既存の活動を住民自治協議会が支援することで、財政的な支援はもちろんですが、イベント参加者の増加や環境美化活動への地域住民の積極的な参加もみられるようになりました。地域のた



めにという意識も生まれつつあり、今後の活動にも意欲がわきます。

発足後3年、住民自治協議会の知名度はまだ低いです。これからも地域の皆さんの知恵とお力を拝借して、地域に根差した活動を推進していきたいと協議会委員一同は考えています。



◀平成26年4月の「お花見広場」

ひと・まち・あしたをつなぐ

市民協働最前線

おおむね小学校区単位で地域の身近な課題や活性化策などを話し合い、解決に向けての活動などが幅広く実施できる「住民自治協議会」という仕組みがあります。現在17の協議会が設立され、計画をたてて各種事業を展開しています。

ここでは各協議会の多岐にわたる活動の一例を、活動している皆さん自身に写真と共にご紹介いただきます。

(今後も順々に各協議会に登場していただきます。今回は来春掲載予定です)

住民自治協議会
現場レポート
File 1



▲平成26年7月の防災訓練「救命救急の実践講習」

新島地区まちづくり協議会

湖東・新島小学校の学校再編を視野に両地区一体となりまちづくり協議会を設立。「大人が変われば、子どもも変わる」を基本理念として、「官民協働によるまちづくり」に取り組む、「安全・安心な、地域と人がかかやく近未来の創造」を目指しています。

その中の一つ、地域と学校が一体となった防災訓練の様相を紹介します。



清川 誠(加藤洲)
【生活環境部会長】

自分の身を、そしてまちを 自分たちで守れるように

では、健康な人でも要援護者になる可能性があります。それを一人ひとりが認識して、普段から家族やご近所、地域の方々と「備え」について話し合う機会をつくっていかねばと思えます。

防災訓練としては今回が2回目となりましたが、訓練には①初期消火訓練、②避難訓練、③救出・救護訓練、④情報収集・伝達訓練、⑤炊き出し訓練、⑥防災資機材の取扱訓練、⑦図上訓練(防災マップ作成)、⑧避難所運営訓練などがありますので、今後も訓練内容を明確にして、実施できればと思います。

そして訓練をきっかけに、正しい知識や技術を習得することで、どんな災害に対しても「自分の身は自分で守る」、そして自分の安全が確保できたら、ご近所や地域の方々と互いに協力して、自分たちのまちを守る活動ができる、そんな心強い安全・安心な新島地区になっていければと思います。

設立年月：平成23年12月
会長：神原 廣(加藤洲)

森山城跡を 住民が憩える自然公園に



小見川 阿玉川 春雄(阿玉川)
【ひと・交流部会長】

小 見川東地区は、昔、森山村と言われ、その名前は中世に築城された森山城に由来しています。また東小学校の応援歌にも「森山城跡長山の…」とあり、区民だれもがその存在を知っています。しかし、城跡の規模や構造、また城主について知る者は少なく、篠竹や雑木などに覆わ



▲平成26年8月、猛暑の中で篠竹などの伐採に汗をかく

れその姿(空堀、土塁)は、篠竹をかき分けて進まなければ見られない状況にあります。ひと・交流部会では、この歴史的に貴重な財産「森山城跡」を東地区のまちづくりの柱として展開することとし、本年度は森山城跡保全・環境整備事業、健康ウォーキング大会の二つの事業を計画しました。森山城跡保全・環境整備事業は、篠竹などの伐採をし、空堀や土塁などの見学ができるよう整備し、伐採後の耕作放棄地には農作物の栽培や景観植物の植栽、山林や雑地には梅や桜など花木の植栽、また案内板や休憩所としてテーブルやベンチの設置なども計画しています。健康ウォーキング大会事業は、森山城跡の耕作放棄地を借りて、サツマイモの植え付けとコースの安全確認や城跡内の散策路の整備を進めています。ウォーキング大会当日(10月18日予定)は、森山城跡で芋掘り体験や栗拾い、また、森山城跡の見学や、城主東氏について歴史研究者による説明を計画しています。私たちは、森山城跡保全・環境整備の協力者やボランティアグループなどを募っています。皆さんと一緒に歴史的貴重な財産を守り、憩いの場所にしましょう。

自治協 まち協 Q&A

◎市はどんな支援をしている?

A 市は「香取市まちづくり条例」に基づいて支援しています。ひとつには本庁および各支所に市民活動支援センターを設け専任職員を配置しているほか、市職員の中から地区担当職員を任命し、活動への協力や情報提供、行政との調整といった人的支援をしています。

また、計画策定や毎年の実施事業に対し補助金を交付し、財政的支援を行っています。

◎日ごろはどんな広報活動を?

A 各協議会では、協議会だよりや催しのチラシなどを作り、地区の皆さんに事業内容などお知らせしています。

中には、フェイスブックページ(※)を開設している協議会もあります。

一山小学区まちづくり協議会 (山田地区)

年2~3回発行している協議会だより「いちやまねつと」のほかに、「旬な情報をいち早く届けたい」と広報紙等発行実行委員会がフェイスブックページを今年4月に開設。協議会の活動の様子だけでなく、地元のお祭りなどの写真も素早く掲載しています。協議会で作成した「災害時協力井戸マップ」もここから見られます。

<http://www.facebook.com/ichiyamagakku>

※インターネット上で情報発信・交流できるサービスの一つ

山倉・大角住民自治協議会

設立年月：平成23年7月
会長：吉野 久雄(山倉)

全員が主役になれる場へ



奈良 律子(山倉)
【春まつり実行委員会委員長】

発 足記念事業「春まつり」も、3回となり、地元の有志が管理を続ける「山倉サクラの山公園」満開の桜の下に、200人以上が集い、守り伝える芸座離子で舞台が始まります。ダンス・民謡・和太鼓の皆さんが日頃の成果を披露すると、観客席には踊りの大きな輪ができて、山倉小学校児童のダンスには、アンコールの拍手が鳴り響きます。

テーブルには、子どもたちがたてたお抹茶がかわばちや饅頭と一緒に運ばれ、笑顔と共に頂きます。混ぜご飯・竹の子汁・煮物・あえ物・紫いも汁粉等々、懐かしい味に大満足。ご近所、久しぶりに会う友達同士が、食事に、おしゃべりにと楽しいひとときです。緑日広場は、金魚すくい、かき氷・唐揚げ、おいしい楽しいものがいろいろあります。小さい子どもたちはお手玉・折り紙をお母さん、おばあちゃんと一緒に遊び、教え合う。3世代のほほえましい光景に、春まつりの《意義》が見えました。



何よりも支援センターや地元職員の協力・地域に合ったアドバイスが心強く、大きな支えとなっています。

▲平成26年4月の「春まつり」